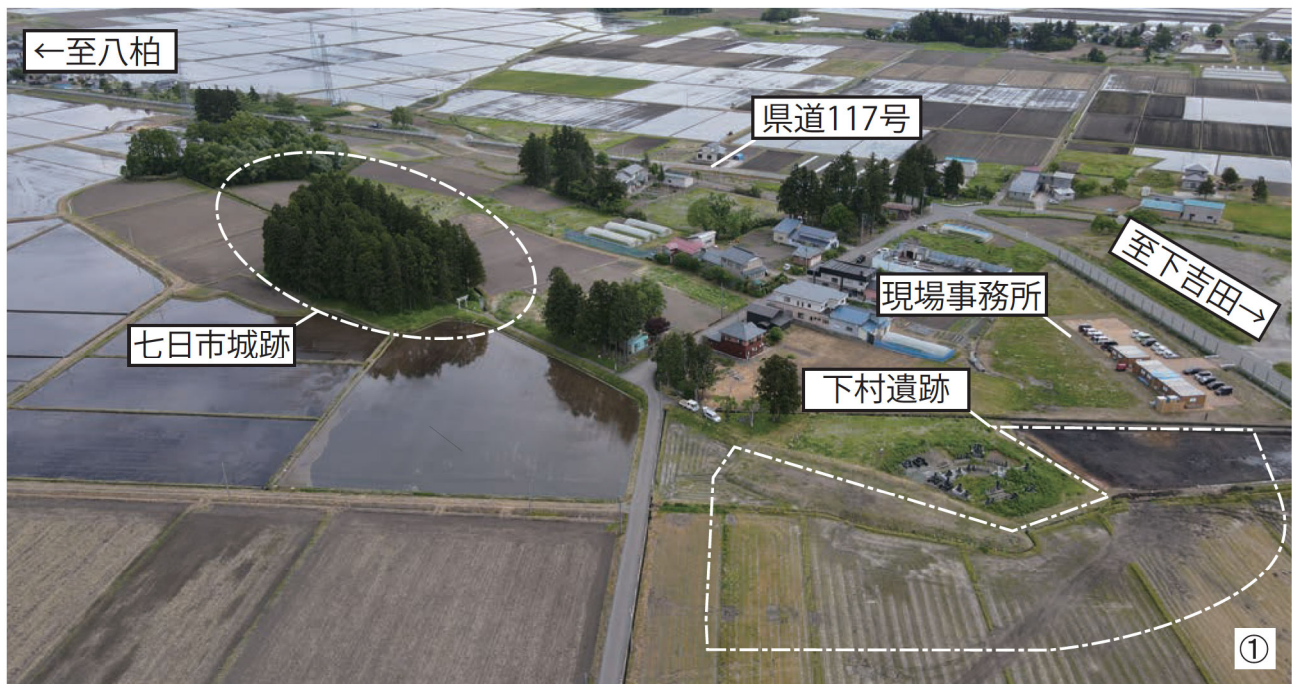




5月から発掘調査を実施した平鹿町下吉田の下村遺跡は、発掘調査の結果、平安時代、鎌倉時代の集落遺跡であることが明らかになりました。調査では、集落を区画する溝から平安時代の土器が集中して見つかったほか、バラ科サクラ属（モモ・スモモ・アンズなど）の種子もまとまって出土しました。

このほかに、鎌倉時代の木器椀や墓も見つかっており、下村遺跡に隣接する中世の城・七日市城跡や、現在の七日市集落の成り立ちを考える上でも重要です。

- ① 下村遺跡全景
- ② 平安時代の遺物が出土した区画溝
- ③ 中世の墓
- ④ 溝から出土した鎌倉時代の木器椀
- ⑤ 溝から出土したバラ科サクラ属の種子